

第1回茅ヶ崎海岸グランドプラン まちづくり協議会 意見のまとめ

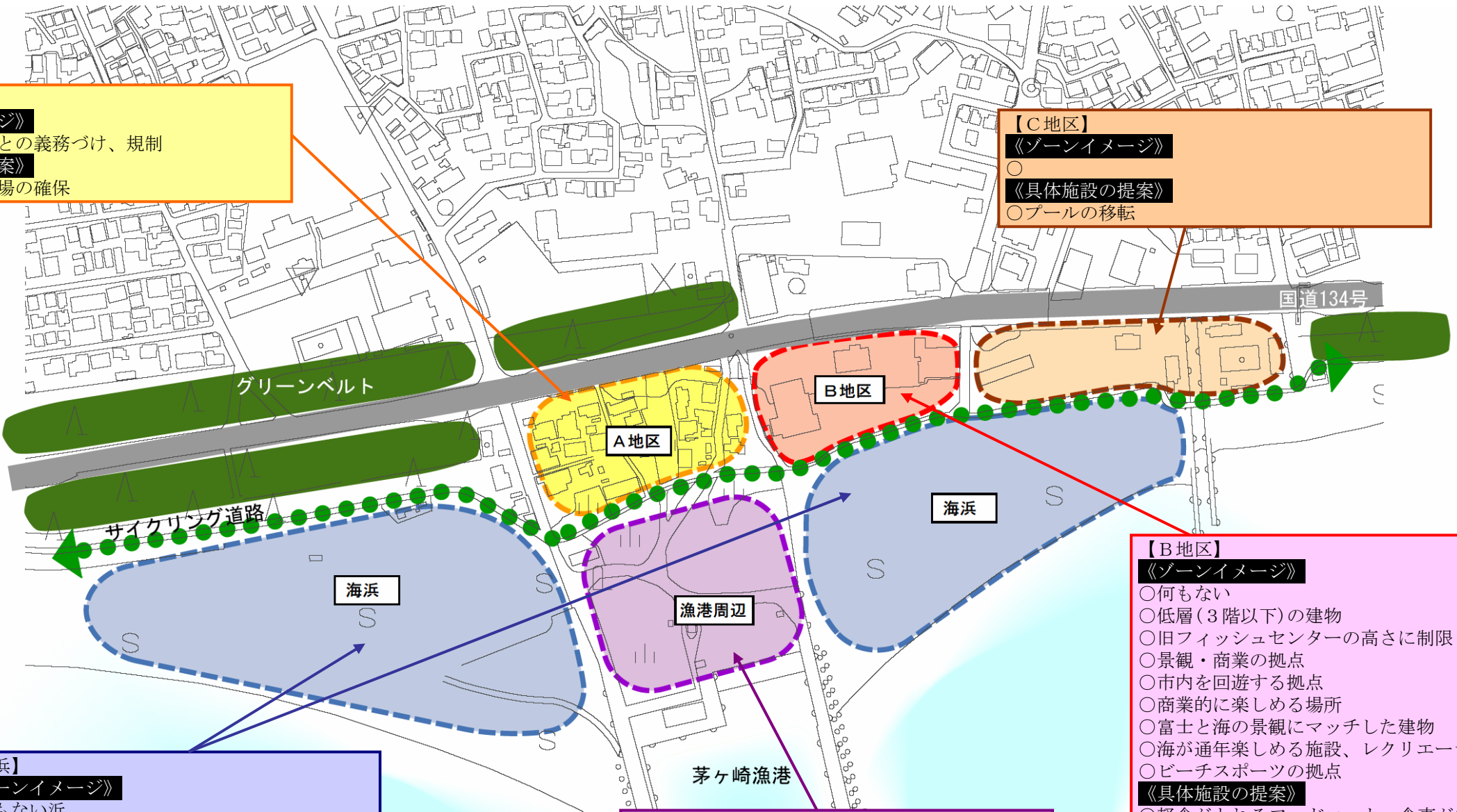
(2006. 5. 27 開催)

テーブル	現況・問題点	地区の目標・将来イメージ	プランの位置づけ、進め方等	感想・その他
A	<ul style="list-style-type: none"> ○漁港周辺は公共の場所であり、個人の住宅があるのはどうか。都市計画が中途半端である。 ○夏は車で出られないので駐車場がほしい。(A地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設があっても無くても年間を通じて様々な人々が来られるところにした。 《発展指向》 ○従来型ではない産業の発展を望む。 ○茅ヶ崎を売り込める野外ステージなど、賑わいを創りたい。 ○子供が遊べるウッドデッキの整備。 ○軽食がとれるフードコートの整備。 《保全指向》 ○不便を楽しむ。(手を加えない) ○現状を維持する。何もない浜、自然のままがいい。 ○ひらかれた空間、ふらっと来たくなる海のイメージ。 ○ハマボウフウが咲く浜辺のイメージ。 ○きれいな海岸線を保全する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○海に開ける視界は、誰をも受けとめてくれる。あの場所は大切である。 ○海を見たい。海の景観が大事。 ○これからは本物志向。地物の魚が取れないのであれば消費魚市場はいらない。
B	<ul style="list-style-type: none"> ○全国的に開発が進んでいるが茅ヶ崎は違う。 ○10年先に海岸が無くなると聞いている。砂浜を守るのは県レベルで、A・B地区の問題ではない。 ○えぼし岩が好き。自然の威力が凄く浸食については、国県が実施すべき。国県のやる気を起こさせるのは市民である。 ○幸いに乱開発がなかったが、ひなびて綺麗でない。昔のままの砂浜は市民が楽しめる。今は自然のまま残しておく。 ○海の家が貧弱。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生まれた時から海を見ている。自然に逆らわず、砂浜を戻す。 ○変な工作物を作るのは後世によくない。 ○市が土地を買い取れば問題ない。巨大マンションは市民の将来にとって問題。 ○古い写真をみると昔は何もなかった。更地にしてほしい。防風林・防砂林、既に建っているものを念頭にプランをつくる。 ○自然のまま残す。 ○土地利用ゾーニング案は概ね妥当である。 ○プールは移転する。 ○今の漁港は市民のためのものではない。突堤を市民へ開放してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県のなぎさプランを進める。 ○B地区が話題の中心であるが、サザンビーチをメインにプランづくりを進める。 ○地権者が株主になり、再開発するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸から遠いところに住んでいるが、散歩するとほっとする。
C	<ul style="list-style-type: none"> ○相模川、漁港、突堤が海岸を破壊している。浜を生き返らせることから始め、海岸を活用すべき。 ○A地区は払い下げによって、自由に転売が可能となる。用途を考える必要がある。転売しないことの義務づけが必要。 ○海岸保全区域と第1種住居地域が重複した異例な地区であり、払い下げと漁港地区が矛盾している。市街化調整区域になるべき。 ○国道134号北側などの店舗は、長く続いていないのが現実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何もないのが一番いい。それがダメなら限りなく低層建物(3階以下)とする。 ○全天候型で海・えぼし岩・富士山を望めるグランドビューのいやしの空間。 ○今の海岸を維持していくべき。自然を生かしたシンプルな海岸。 ○B地区の地下に駐車場を作り、地表面を自然・緑地的な利用をする。 ○旧フィッシュセンターの高さを限度とする。 ○地区は相模湾の中心に位置し、中心にふさわしい景観を形成する。 ○地区本来の魅力を取り戻す。 ○海岸全体を県立公園にしてほしい。 ○国道134号南側は自然に、北側を整備して活性化を図る。 ○観光の拠点、市民が来たくなりうる場所である。景観を守りつつ景観・商業の拠点を形成し、さらに市内を回遊する拠点を形成する。 ○江ノ島～箱根の中間点であり、国道134号を走る人のものである。商業的なものも楽しめる所であり、食事などができる場所があってもよい。 ○全体プランの先駆けとして、フィッシュセンター跡地にパイロットショップとして利用する。恒久的な店舗は国道134号の北側に店出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○B地区だけでなく、地区全体で景観保全を考えるべき。 ○茅ヶ崎海岸の全体を含んだ位置づけが必要。 ○海岸保全法による許可基準、景観法をプランづくりに考慮していくべき。 ○漁業振興の方針に掲げられるかどうか、漁業・漁港の将来性を検討すべき。 ○“アートフルな庭”“殺風景な海岸”はイメージしづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既に浜の景観は失われつつある。国道134号南北側の土地利用の議論ではない。
D	<ul style="list-style-type: none"> ○防災面から、国道134号南側に建物があるのがおかしい。 ○海岸に何もないのが特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> 《フィッシュセンター跡地の利用》 ○富士と海の景観にマッチした建物。 ○低層だけでは壁になる。 ○茅ヶ崎のイメージを台無しにするものはだめ。 ○通年、海が楽しめる施設。 ○国道134号のレベルより下になる部分も活用する。 ○ドライブイン的な施設はやめる。 ○以下、具体的な施設の提案 ・FMスタジオ/ハワイのローカルレストラン/ライブハウス/湘南サウンドミュージアム/レクリエーション拠点/ビーチスポーツの拠点/サザンファンの支援施設・巡礼地・拠点 《海岸》 ○浜をしっかりと残すべき。海岸は海岸らしく残すべき。 ○バリアフリーな海岸づくり 《漁港》 ○漁港がない方が、景観的にも美浜面でもよい。 ○漁港は自然でない。有効ではないのでいらない。 ○漁港は栈橋化する。 ○観光漁業であれば、ここには漁港がある必要がない。 ○遊覧船を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デニーズ・松涛荘を含めて事業化を考える。 ○市役所駐車場隣の土地と交換する。 ○まちづくり協議会が調整役となる。 ○B地区地権者と建設的に議論すべき。 ○マンション予定地に市民が何をほしいのかはっきりさせるべき。 ○海岸全体をしっかりと考えるべき。 ○市として、漁業をどのように考えていくのか。観光か産業か。 	

テーブル	現況・問題点	地区の目標・将来イメージ	プランの位置づけ、進め方等	感想・その他
E	<ul style="list-style-type: none"> ○漁港が整備されてから潮流が変化し、砂が削りとられた。浸食された砂を取り戻したい。 ○茅ヶ崎海岸は、“海を眺める人”“散歩・ジョギング”“サーフィン”“サイクリング”“つり”など日常的に利用されている。 ○A地区は払い下げ後に転売される可能性がある。規制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○建築物は景観上、好ましくない。 ○天然の渚、丹沢・箱根の見える風景を保全する。 ○建築の規制により、現状より悪くしてほしくない。 ○昔のままの海岸を望む。 ○海を楽しむためのシェルターがほしい。 ○動物とのふれあいの場となるような、動物公園、ドックランを整備する。 ○虫食い状態での開発はよくない。 ○フィッシュセンター程度の建物は仕方がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○私有地に対して議論できるのか、疑問である。 ○プランがかなり進んでいると感じる。今さら何かを言う必要があるのか。 ○カタカナ語はやめて、日本語で表現してほしい。 ○市民の声を受けて、行政は法的な効果強制力を持ってやってほしい。 ○市としてどうしたいのか、不明である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の暖かさを感じている。 ○自分の庭との思いがある。観光バスに来てほしくない。 ○亀が歩いている風景があった。 ○東京から一番近い田舎まちのイメージ。 ○国道134号というより「遊歩道」のイメージ。 ○砂浜が熱いイメージ。 ○反対は難しいと思う。
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸の浸食問題 ○A地区払い下げ後の問題（転売） ○土地利用（海岸保全区域、用途地域等） 	<p>【自然・景観保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何もない海岸 ○自然のまま ○自然を生かしたシンプルな海岸 ○天然の渚、丹沢・箱根の見える風景を保全 ○相模湾の中心にふさわしい景観の形成 <p>【拠点形成型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○従来型でない産業の発展を目指す ○景観を守りつつ景観・商業の拠点の形成と市内を回遊する拠点の形成 <p>【ある程度の開発を許容する中での建築物への制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低層建築物（3F以下） ○旧フィッシュセンターの高さ程度 <p>【建物イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○富士と海の景観にマッチした建物 ○通年海が楽しめる施設 ○全天候型で海やえぼし岩、富士山を望めるグランドビュー（癒しの空間）。 ○食事などができる（レストラン） <p>【施設・海岸の整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ウッドデッキの整備 ○フードコート ○バリアフリーな海岸 ○動物のふれあいの場となる動物公園、ドッグラン ○茅ヶ崎を売り込める野外ステージ ○レクリエーションやビーチスポーツの拠点となる施設 <p>【漁港について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁港は無い方がよい ○観光漁業であれば漁港がある必要はない ○遊覧船の運航 	<ul style="list-style-type: none"> ○茅ヶ崎海岸全体を含んだ位置付けが必要。 ○漁業をどう考えて行くのか。 	

【A地区】
《ゾーンイメージ》
 ○転売しないことの義務づけ、規制
《具体施設の提案》
 ○夏期等の駐車場の確保

【C地区】
《ゾーンイメージ》
 ○
《具体施設の提案》
 ○プールの移転



【海浜】
《ゾーンイメージ》
 ○何もない浜
 ○自然のまま、自然を生かした海岸
 ○海岸らしく残す
 ○バリアフリーな海岸
 ○海岸全体を県立自然公園
 ○砂浜の復元
《具体施設の提案》
 ○ハマボウフウが咲く浜辺

【漁港周辺】
《ゾーンイメージ》
 ○漁業・漁港の将来像の検討
 ○漁港はいらない
《具体施設の提案》
 ○突堤の市民への開放
 ○栈橋化
 ○遊覧船の運行

【B地区】
《ゾーンイメージ》
 ○何もない
 ○低層(3階以下)の建物
 ○旧フィッシュセンターの高さに制限
 ○景観・商業の拠点
 ○市内を回遊する拠点
 ○商業的に楽しめる場所
 ○富士と海の景観にマッチした建物
 ○海が通年楽しめる施設、レクリエーション拠点
 ○ビーチスポーツの拠点
《具体施設の提案》
 ○軽食がとれるフードコート、食事ができる場所、ハワイのローカルレストラン
 ○地下に駐車場、地表面を自然・緑地
 ○パイロットショップ
 ○FMスタジオ
 ○ライブハウス
 ○湘南サウンドミュージアム
 ○サザンファンの支援施設・巡礼地

【全体】
《具体施設の提案》
 ○茅ヶ崎を売り込める野外ステージ
 ○子供が遊べるウッドデッキ
 ○全天候型の景観が楽しめる施設
 ○海を楽しむためのシェルター
 ○動物公園、ドックラン

